

Special Interview

ベストセラー

『薬に殺される日本人』
「医者が警告する効果のウソと
薬害の真実」の著者



内海 聡

Tokyo DD Clinic院長

インタビュー

日本SOD研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協力：株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

風邪やインフルエンザは
薬では治らない！

今回はそんな内海先生にインタビューさせていただきました。初めてということ、まずは薬害のことを中心にお話を伺ってきました。

だ本になっています。

今最も注目のドクターなのです。なぜ話題かは、著書のタイトルを見ただけでもわかります。『医者が教える危険な医療』『精神科は今日も、やりたい放題』『ワクチン不要論』『日本人だけが知らない汚染食品』そして『薬に殺される日本人』とストリートに踏み込んだものです。これはブック紹介ではなく、直接ご本人に話を伺いたいと思いました。また、出版物のいくつかが漫画仕様で、どんな方でもあっといって間に読めるのです。だからといって内容はすごく濃厚。ややもすると難解になりがちな医学用語や医薬品のこと、そのメカニズムから医学界、薬学にまで切り込んだ本になっています。

10数年、単行本などの出版物だけでなくYouTubeやフェイスブックなど新しい様々なメディアで発信を続けている現役医師がいます。まだ40代という若さ。本を出せばベストセラー、SNSのフォロワーは医師としては異例の数字をたたき出し、今最も注目のドクターなのです。なぜ話題かは、著書のタイトルを見ただけでもわかります。『医者が教える危険な医療』『精神科は今日も、やりたい放題』『ワクチン不要論』『日本人だけが知らない汚染食品』そして『薬に殺される日本人』とストリートに踏み込んだものです。これはブック紹介ではなく、直接ご本人に話を伺いたいと思いました。また、出版物のいくつかが漫画仕様で、どんな方でもあっといって間に読めるのです。だからといって内容はすごく濃厚。ややもすると難解になりがちな医学用語や医薬品のこと、そのメカニズムから医学界、薬学にまで切り込んだ本になっています。



——これまで会報でも薬害については書物を紹介したり、丹羽先生のインタビューなどで伝えてきてはいたのですが、いまひとつ伝えきれないような気がしていました。そこに内海先生の本が現れ、私たちは衝撃を受けました。先生はどうしてこのような漫画にして出版したのでしょうか？

内海 ざぱり読む層を広げるためですね。また、年配の方にも漫画のほうが読みやすいと。

——あとSNS（フェイスブックやインスタグラムといったインターネットを通じてコミュニケーションをすることができるところ）でも発信しているらっしゃる。年配の医師にはできない革新的なことをやっていますよね。

内海 SNSは以前からやっていて反響はあるのですが、SNS発信は、逆に言うと同配の方には届きにくいかなとは思っています。なので「壮快」などの健康雑誌にコラムをずっと出していたのですが、意外にも届かない。漫画なら若い人からお年寄りまで気軽に読めると思ったんです。

——そんな中『薬に殺される日本人』の内容も、身近な風邪薬のことから始まり、ワクチンや、製薬会社と医学界の話まで、薬は病気を治すものと信じて疑わない人にぜひ読んでいただきたい内容だと思いました。冒頭にインフルエンザと風邪のことが取り上げられていましたが、このふたつの病気の違いとは何なのでしょうか。

内海 本質的にはどちらもウイルスが原因で起こる感染症で、病状についても大差ないです。

——風邪よりもインフルエンザのほうが重症化しやすく、やっかいな病気だと思っていたのですが、違うのですか？

内海 症状でいえば、インフルエンザは急激に高熱が出て関節痛や倦怠感が全身に出るくらいで、高齢者や持病があり抵抗力のない人は、高熱などで体力を奪われ弱っ

てしまうことがあって、高齢者施設などで流行ると死者が出てしまうんですね。しかしどちらも名前の違うウイルスによるものなんです。これらの感染症とはどんなものかというところ、病原体(病気を起す小さな生物)が体内に侵入して、定着し、増殖することで症状が出る病気のことをいいます。この病原体が体に侵入しても、症状が出る場合と出ない場合があります。感染症が発症するかどうかは病原体の感染する力と病原体が侵入したときの体の抵抗力とのバランスで決まります。体の抵抗力を高めることで感染症になることを防いだり、発症しても早く治すことができるんです。

——体の抵抗力を高めるということは、コロナ禍で盛んに言われる、免疫力を上げることだと思つたのですが、風邪やインフルエンザなどの感染症になつてしまったら、どうすれば早く治すことができるのでしょうか。

内海 体力を温存し、体を温める。栄養と水分を摂る、部屋の湿度と湿度を保つ。つまり、インフルエンザや風邪にかかったらまずは布団をかぶって寝ることです。

——単純なことなんです。そこで薬は必要ない。

内海 インフルエンザや風邪は薬で治らないんです。

——風邪薬に関する一般的な認識を調査したデータが製薬会社のウェブページに載っていたんですが(図1参照)いまだにほとんどの人が風邪は薬で治る、ウイルスを倒せると思つているという結果。このことはどう思いますか？

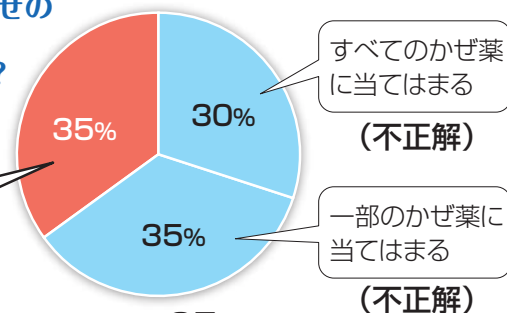
内海 一般的に見たらそんなものでしょう。何事にも常にアンテナを張っている人、自分で考え調べようとすると人というのは意外にも少ないものです。ほとんどがテレビから自動的に流れてくるCMや健康番組などの情報を信じて疑わない。こんなことをいうと、じゃあ薬局で売られている風邪薬はな

(図1)

Q かぜ薬はかぜのウイルスをやっつける？

正解

このようなかぜ薬はない



不正解65%

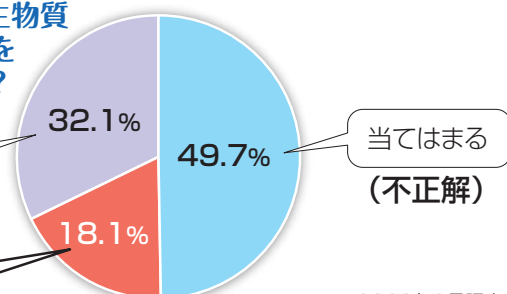
2019年12月調査

Q 抗菌薬・抗生物質はウイルスをやっつける？

分からない

正解

当てはまらない



2020年8月調査

(武田コンシューマーヘルケアと国立国際医療研究センター病院の調査から)

んなの？と言われる。簡単に言う
と、薬は病気を治しているのでは
なく、病気が元で出ている症状を
ごまかしているんです。風邪薬を
飲んで発熱、頭痛、鼻水、せきな
どが和らいだことを、風邪が治つ
たと勘違いしているだけ。薬は症
状を抑えていただけにすぎず、治
すのはその人が本来持っている治
癒力や免疫力なのです。つまり、
体が病気を治すまでの間、不快な
症状をごまかしておくためのもの
が薬なんです。

——ごまかしてくれるのなら薬を飲
んでもいいのではと思いがちですが。

内海 ごまかしているだけではす
まないから大いに問題があるん
ですよ。薬は不快な症状をごまかす
のと引き換えに、免疫を下げる、
病気の治りを遅くする、病気を悪
化させる、診察の妨げをする、別
の病気を引き起こす、といった弊
害を起こすんです。

——これは風邪薬に限ったことでは
ないですよ

内海 もちろん。すべての薬には
何らかの障害をおこす可能性があ
るんです。そしてそのことに対し
て日本人は無頓着すぎると思っ
ています。

——逆に薬が必要な場合のことも本

の中で触れていますよね。

内海 僕は現代西洋医学のすべて
を否定しているわけではないん
です。医学不要論を提唱していま
すが、必要な薬や医療があること
は認めています。

——例えば？

内海 いちばんわかりやすいのが、
交通事故などによる救急医療です。
骨折や火傷、外傷などの場合手術
も必要です。耐えようのない痛み
を一時的に回避するために鎮痛剤
も使うし、狭心症の人が発作を起
こしたらニトログリセリンも使う。
これは劇薬ですから健康な人が使
えばとんでもないことになるけど、
狭心症の人には必要です。

——ケースバイケースということ
ですね。

内海 そうですね。要は、放って
おくと死んでしまう場合、救急性
の高い場合などに薬や西洋医学は
必要なんです。亡くなってしまう
ては元も子もないですから。

——ということは、私たちが普段、
気軽に使っている風邪薬として出さ
れる、抗生剤、解熱剤、のどの炎症
を抑える薬、咳止め、胃を荒らさな
いための胃薬、整腸剤などというも
のが最もいらない薬だと。

内海 どれが最もいらないとか

じゃなく、救急医療以外はほとん
どいらない、というかほとんど
薬にリスクが伴うということを
知っておいてもらいたいです。

ワクチンは全く効果なし 逆に有害物質の塊

——本の中で赤ちゃんが風邪で下痢
になったからといって解熱剤や抗
菌剤を投与され、そのあとも頻繁に下
痢や発熱のたびに薬を飲んでいたら
今度はアレルギーになり、ステロイ
ド、免疫抑制剤まで投与、という話、
怖かったです。

内海 小さい子どもほど薬の影響
は受けやすいですから。下痢に処
方される抗菌薬などは腸内を整え
る常在菌という良い菌まで一緒に
攻撃するからよい下痢になる。
これを生後2歳までに使うと、ア
レルギー発症のリスクがあるん
です。そもそも下痢というのは悪い
ものを体外に出そうとする役目
があるのに下痢止めの薬を飲めば悪
い菌が体内に留まってしまいま
す。解熱鎮痛剤は風邪やインフルエ
ンザの治りが遅くなったり、脳障
害をおこすことがあります。そし
てステロイドは依存症になるとがん
になる可能性が高くなります。免

疫抑制剤は免疫を抑えるわけ
ですから感染症にかかりやすくなる。

——ざっとあげていただいただけ
これだけのリスクがあるのに子ども
に飲ませる医師も医師ですが、親も
勉強が必要ですよ。

内海 僕はそんな方のことを毒親
と言っています。薬を湯水のよう
に処方する医師も毒ですが、それ
を許容して医師任せにしていた親
も、被害者ではなく加害者なん
です。小さくて未熟な体にどれだ
けの量の薬とワクチンが投与され
ているか。

——ワクチンにも有害物質が含ま
れているとおっしゃいますが、どの
ようなものか？

内海 食品の原材料って気にした
ことありますか。遺伝子組み換
え食品はダメとか、トランス脂肪
酸はダメとか、合成保存料や合成
着色料はダメとか、気になること
はあると思います。しかし、薬の
原材料なんて、名前だけじゃ理解
できませんよね？ワクチンで注
意が必要な原材料をざっとあげて
みましょうか。まず、抗生物質、臓
器に蓄積する合成界面活性剤、神
経毒の水銀、骨、骨髓、脳の変性
を促すアルミニウム、動物の細胞、
防腐剤で発がん性の高いホルムア

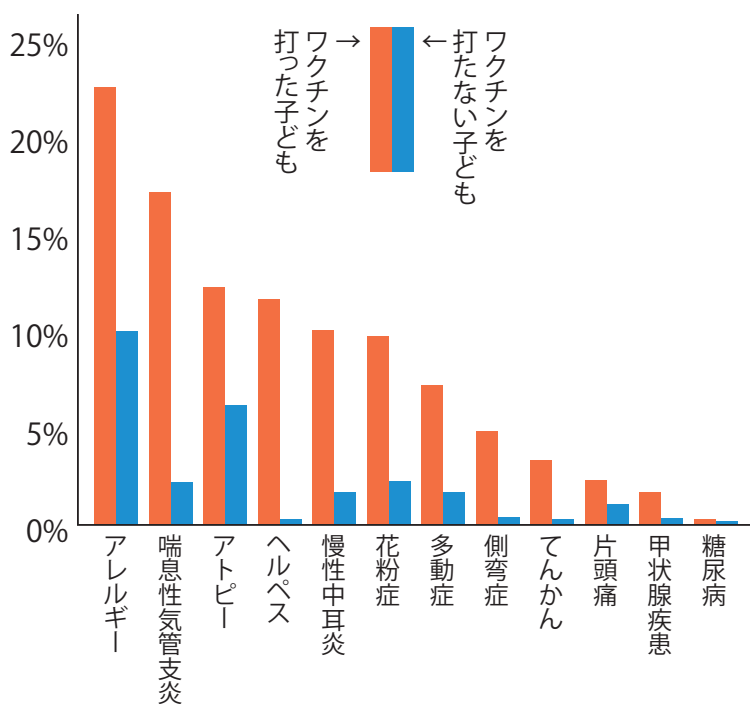
ルデヒドなどなど、これらは普通にはほとんどのワクチンに入っているんです。そして、これらを使用する言い訳が厚生労働省のホームページを見ると出ています(注1参照)。これらの成分を見ていると、絶対に人を病気にさせるぞ、という強い意志すら感じますね。この毒とこの毒を組み合わせると毒の効果が倍増されるというのがそのまま出ている。

——厚生労働省の注意書きを読むと、狂牛病の牛の材料がワクチンに使われても、それは効果のほうを上回るから使っているという言い訳というが、免罪符のようなものですね。

内海 だから有害物質をふんだんに使ったワクチンができ、それがあるうことが免疫力も抵抗力もない0歳児がいちばんたくさん接種しているんです。先進国の摂取本数と5歳児までの死者数のデータをを見ると、ワクチン接種本数の多い国ほど死亡率が高い。さらにワクチン接種が病気を増やしているという調査結果が世界中で発表されています。ドイツで1万7千人のワクチン接種、未接種の子どもたちを対象としたデータがあります(図2参照)。これで見ると、あらゆる病気が2～5倍、多いも

(図2)

ワクチンを打った子どもと 打たない子どもの罹患率比較



「薬に殺される日本人～医者が警告する効果のウソと薬害の真実～」内海 聡 著より引用

のだと10倍以上罹患率が上がっています。

——怖いですね。ものすごく。日本はワクチン接種が任意ですが、周囲の目が強制させるようなところがありませんか？

内海 感染症への恐怖を植え付けられているから、ワクチンを打たなければ周囲の人たちから変な人

扱いされる。誰かに感染させたらどうするんだという他人からの批判。子どものワクチンスケジュールを守らないと保育所にいることが難しい。医師にダメな親だと思われるなど、僕のところにも相談にいらっしやる人がけっこういます。

——どのようなアドバイスを？

内海 まず、知ること。正しい知識と情報を知る。そして自分で判断する必要があります。僕の言うことを鵜呑みにせず、自分で調べてください。そして今後もワクチンを接種しろという圧力が

かけてくるはずなので、理解のあるかかりつけの医師を見つけて協力してもらってください。

——最近、何人かの医師が本や雑誌で、そもそもワクチンは意味がないとおっしゃっているのを拝見したんです。なかでもいちばんきっぱりとおっしゃっているのが内海先生ですよ。

内海 ワクチン不要論ですね。私としては、ワクチンは抗がん剤、精神薬と同様に全否定しています。薬が危険なことはもう当たり前で、そのうえでワクチンはどのワクチンも例外なく効果がないからです。感染症を防ぐ効果も、重症化を防ぐ効果もない。おそらくほとんどの人がワクチンに期待する。ちよつと考えるようになった人はワクチンは効くけど、体に害があるものが入っているから心配かなど。これがよくある話だと思いますが、効かないんだから存在価値が全くないものなんです。

——確かにインフルエンザワクチン



を打ったけどインフルエンザになった知り合いが何人もいます。しかしほとんどの人がワクチンと型が違ったから感染したと思っていろいろかもしません。

内海 型なんか関係ないんです。そもそも効かないから。製薬会社や医学界は最初は、ワクチンは感染

症を予防する、と主張していましたが、その効果についてさまざまな調査や研究が進むと、予防効果がないことが明らかになってきました。ウソがばれてくると製薬会社と医学界は、ワクチンは感染症を予防できないが、重症化は防げる、と言い始めたのです。さらに前橋

レポートとして有名な前橋医師会の「接種、未接種で罹患数は大差ない」という研究データが出され、これがきっかけでインフルエンザワクチンの学童集団接種が廃止になりました。そもそも重症化を防ぐ効果については未だに実証されていないんです。薬害研究の観点から見ると根拠がないんです。僕が思うに、日本の薬や医療で人々から絶大な信頼を受けながら、いちばん裏切っているのがワクチンでしょ

うね。

——ワクチンを打つと、体内に抗体ができて、免疫力が上がるというのは？

内海 まったくのウソです。免疫とワクチンの最大のウソです。ワクチンは生理的な経路を通るわけではないので、真の意味での免疫はできません。ワクチンでできる抗体というのは、検査で陽性になるだけの抗体であるにすぎず、ウイルスを防ぐ作用はないのです。詳しくは『ワクチン不要論』を見ていただきたいですが、ウイルスへの抵抗力(免疫)は抗体だけでは成り立たないんです。ましてや血液の中だけの抗体ではなおさらです。リンパ球、粘液、唾液、発熱、マクロファージなどさまざまな免疫細胞間の情報伝達すべてがそろって初めてウイルスに抵抗できるんです。

——ということは、新型コロナウイルスのワクチンも、同様だと。

内海 そもそも新型コロナウイルスが詐欺であり、感染者数も死亡者数もPCRが有用だという理屈もみんなウソです。そこにとって付けたワクチンを出してきても当然効果はありません。ニュースでは効果効くと言っていますが毎回同じ

パターンです。

**治療や薬が原因で病気になる
医原病がアメリカでは
死因1位という現実**

——先生の本に頻繁に出てくる医原病ということば。文字通りに医療が原因の病気ということでしょうか。

内海 そうです。この本のタイトル『薬に殺される日本人』というように、今の日本では、薬が原因で病人が大量に作られ、亡くなっているんです。アメリカの調査結果によると、死亡原因の1位は医原病でがんや心疾患よりも多かったです。わかりやすく言うと、がんの治療で抗がん剤を使って死亡した場合、日本ではがんで死亡したことになります。アメリカでは抗がん剤による医原病で死亡したことになるんです。アメリカでは結果を調査する研究機関があるんです。本当はその調査よりも実数はもっと多いとは思いますが。それでもちゃんと調査をして発表する機関があるだけです。

——日本ではそのような調査はしないのですか？

内海 ないと思います。見ざる聞かざる言わざるというような文化

がありますから。それに基本的に医者や薬剤師というのは薬物のことも毒物のことも勉強したことないんです。残念ながら僕は薬の各論は知っていても、薬の基本や本質を勉強している人をひとりも見ることがないですね。

——だとすると年配の方たちの「医者がいいうから正しい、薬を飲んでいるから大丈夫」という概念をどうやって覆していけばいいんでしょうか。私も身内に薬はなるべく飲まないほうがいいと言っているのですが、その場では納得しても、病院に行つて医者の話を聞くうちにすぐひっくり返されてしまうんです。この血圧の薬を飲まなければ、どうなっても知りませんよと言われ、怖くなってまた飲み続ける。飲んでるほうが怖いということが分からない。

内海 これはもう、無理です。僕も12年間ずっと言い続けてきましたが、結局何も変わらない。

——そんな……。だって先生の本も何十萬部も世に出て、SNSのフォロワーも多くて、すごい影響力だと思えますが。手ごたえはないんですか？

内海 ないです。フェイスブックなんか医療関係の中でフォロワー数1位なんです。情報専門家に聞

くと累計で150万人くらいの人を観ているらしいです。でも、人々の意識は何も変わっていないんです。

——雑誌などではずいぶん薬害のことを扱ったりしているし、テレビも健康に関する番組が増えたように思えるのですが。

内海 最近は週刊誌でも薬を飲まない特集があると売れると聞いたことがあります。みんな薄々気付いているんです。しかし、薬をやめるという自分で考える力もなく、医師に言われて従っているだけなんです。テレビの健康番組は騙し番組の筆頭ですね。視聴者も、みんな本当に健康になりたくないのかと思いますね。ラクしたいだけ。薬もサプリも健康にいいという食品も、全部一緒に、何かを摂取してラクしたいだけなんです。基礎や基本がないんです。自分で考えられない。あらゆる学問、医学、食学、環境学、東洋医学にも基本がある。

——とはいえ私たちが今から基本を学ぶのは難しくありませんか？

内海 逆に一般の方こそが理解するもので、昔はそれを口伝えでみんなに教えていたんです。

——おばあちゃんの知恵袋のよう

な？

内海 そうそう。今ないでしょ？

そもその問題は、すべてがハウトゥーになっているということなんです。

——確かにテレビなどは一方的に与えられるものですね。今はマニユアルがないと何もできないという話も多いですね。

内海 例えば、薬の副作用について知りたいとよく聞かれるんですが、そもそも薬の基本に立ち返れば、副作用なんて言う言葉は存在しないんです。それは副作用ではなく、もともとそうなる作用なんです。抗がん剤で髪の毛が抜ける、激しい吐き気に見舞われるのは、副作用ではないんです。抗がん剤とは髪の毛が抜ける薬であり、吐き気がする薬なんです。そしてがん細胞をやっつける薬ではなく、すべての細胞を壊す薬なんです。このことを薬剤師も医師もちゃんと医学的に説明できない。そんなのは薬剤師や医師とは言えないんです。薬とは基本的には作用しかないというのは薬学の初歩です。副作用という言葉は製薬会社や医学界が自分たちの都合で分けているだけなんです。

インタビューは東京の御徒町にある先生のクリニックTokyoDD Clinicにおじゃまして行いました。

診察室の隣にある待合室に入ると、まず先生が勧める調味料や食品からシャンプーや石鹸など、無添加無着色の商品を並べたコーナーが。安心で安全なものを集めていたら、患者さんから売ってほしいと言われて始めたとか。そして次に気づいたのが、書籍コーナー。百冊以上はあるギャラリーには様々な医学書から健康医



profile

プロフィール (著書より抜粋)

Tokyo DD Clinic 院長

内海 聡



1974年兵庫県生まれ。筑波大学医学専門学群卒業。東京女子医科大付属東洋医学研究所、東京警察病院消化器内科、牛久愛知総合病院内科・漢方科を経て牛久東洋医学クリニックを開業。現場から精神医療の実情を告発した『精神科は今日も、やりたい放題』がベストセラーに。2020年現在、断薬を主軸としたTokyo DD Clinic 院長、NPO法人薬害研究センター理事長を務める。SNSの視聴は累計150万人にのぼる。近著にこのコロナ禍騒動にも切り込んだ『心の絶対法則』(ユサブル刊)がある。

療に関する書物。その中に丹羽先生
の書物も発見。「丹羽先生にはお会い
したことはないですが、知っていま
すよ、そりゃ代替療法をやっている
人で知らない人はいないでしょう」
とのこと。そしてそれらの中に、先
生が勉強したという10cmもある分厚
い漢方の本がありました。いくつか
見せていただいて驚いたのは、すべ
て漢文で書かれていたことです。こ
れはそこらの漢方医では到底かなわ
ない本物の知識量です。いったい専
門はどの分野なのか伺うと、よく聞
かれるんですがと苦笑しながら

「ただの内科医であり、消化器内科
医だったのですが、東洋医学を学び、
精神科医と間違えられるくらいにな
り、代替療法の世界でも知られるよ
うになって、今、専門をあげるなら、
それは薬害の専門であり、依存心理
に関する専門家ですね」
さらにクリニックでの治療は低温
サウナ、よもぎ蒸し、電気治療器も
あり、メタトロンによる波動医学測
定とエントロピーの適正化、ホメオ
パシーレメディや健康食品の処方な
ど、多岐に渡ります。ひとつの療法
にとらわれるのではなく、原因を必
ず考えて、個々の人それぞれの症状、
特性、環境を鑑みての治療を施すの
が当たり前とか。

興味深いお話をたくさん伺い
ることができました。有難うござい
ました。

注1

ヒブワクチンとポリオワクチン、
日本脳炎ワクチンの原材料について
の注意書き(厚生労働省のホームペー
ジより)

「平成15年12月のアメリカでのBSE
(牛海綿状脳症)の発生を受けて、薬
事法第42条の生物由来原料基準に基
づき、アメリカ産牛に由来する原材
料を医薬品などに使用することは、
原則認められていませんが、使われ
ています。治療上の効果が当該原材
料を使用することによるリスクを上
回る場合においては、その利用が認
められており、医薬品として認証さ
れています」

もしくは

日本SOD研究会

☎03(5787)3498

まで お電話ください。

◆丹羽先生診察ご希望の方は

御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メディカル研究所

☎0120(731)175

SOD様作用食品 体験者の声を お聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも
早く良い治療法に行き当たる
ように、本誌では愛飲者の声を
募集しています。お手数ですが、

〒158-0094 東京都 世田谷区

玉川1-15-2 B棟2802

日本SOD研究会 宮城宛

Tel 03-5787-3498

までご一報下さい。

内海先生のクリニック紹介

Tokyo DD Clinic (内科・精神科)

Tokyo DD Clinic<drug-deprivation-clinic>は、日本中に広がる薬漬け、薬害、依存という
問題を鑑み、薬が不必要であると概念を主眼に診療しているクリニックです。
drug-deprivationは断薬という意味であり、当クリニックは西洋医学の薬は使いません
(減薬のための処方します)。当院では多くの方のニーズにお応えするため、自費診療
を中心として保険診療では治療しきれない病態に対応して治療しています。

診療時間：火、水、金、土曜日 AM:9:00~12:00 PM:14:00~18:00

休 診 日：日、月、木曜日、祝日

Tokyo DD Clinic

〒110-0016 東京都台東区台東4-17-1 偕楽ビル302

完全予約制 予約用電話：03-6240-1316

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや生活習慣病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されません。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをキッカケにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの。私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐丹羽クリニック院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。

「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある